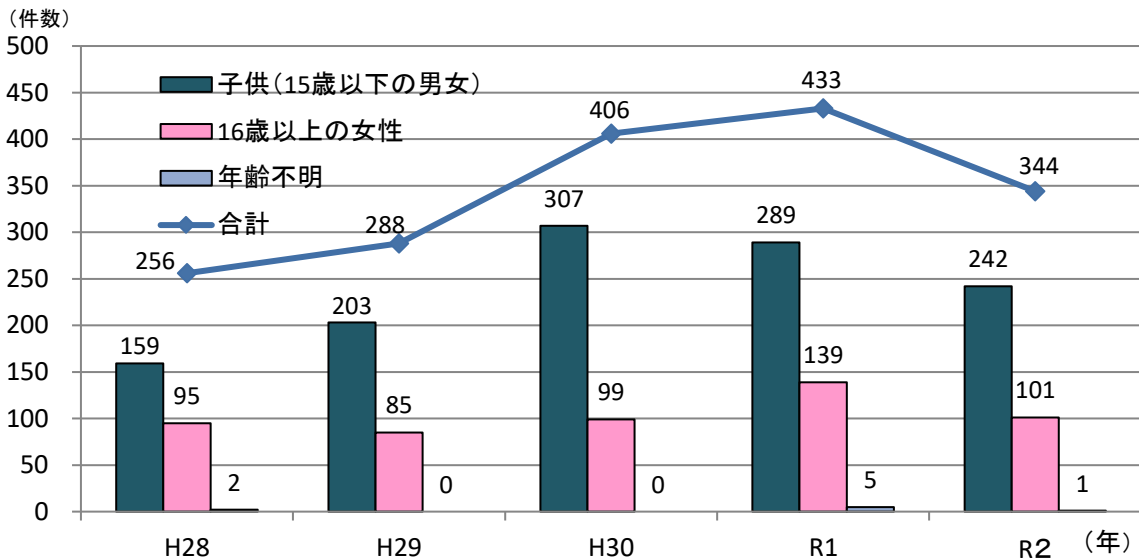


子供・女性に対する声掛け事案等の概況 (令和2年)

生活安全部 人身安全・少年課
子供・女性支援係資料

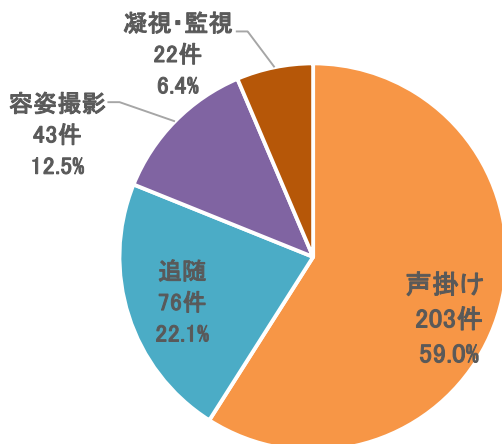
1 声掛け事案等認知状況の推移(過去5年)

子供や女性に対する性犯罪等の前兆とみられる声掛け事案等の認知件数は、令和2年中344件で、前年と比べ20.6%減少しています。



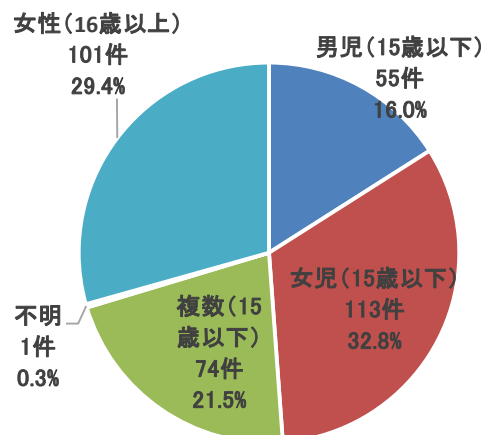
- 子供とは15歳以下の男児・女児のことをいいます。
- 「声掛け事案等」の中には、子供や女性に声を掛けず、後を付いて行く追従や手招き、子供や女性を見つめる凝視や監視、更にはカメラ等での容姿撮影といった子供や女性が不安を感じて警察に届け出られた事案の件数を含めています。

2 形態別認知状況(令和2年中)



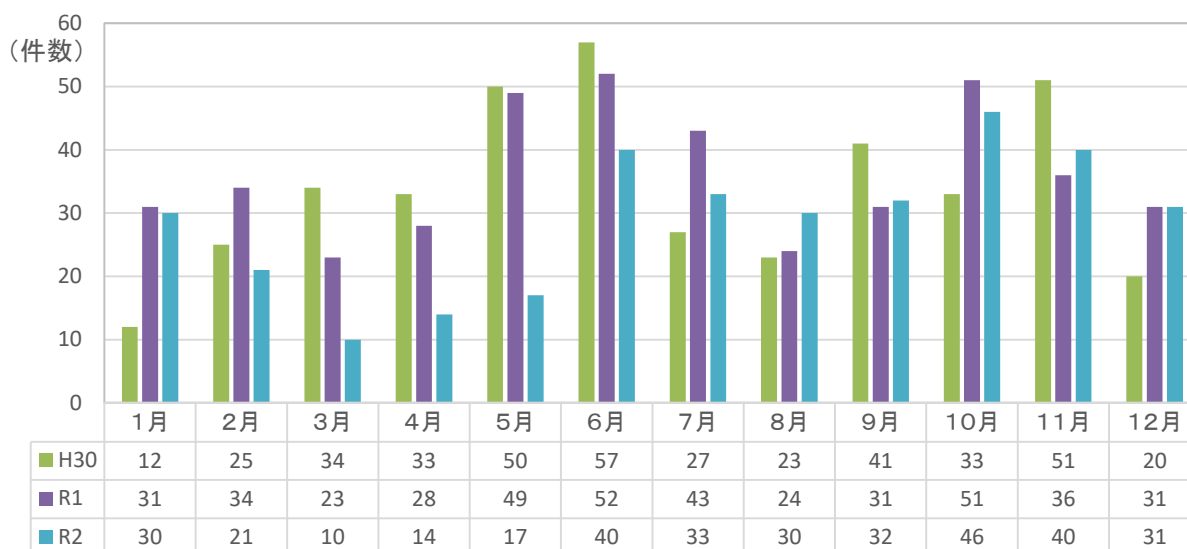
- 子供や女性に対する声掛けが大半を占めます。
- 「追従」「容姿撮影」「凝視・監視」は、子供や女性に対する直接の声掛けはありません。

3 対象別認知状況(令和2年中)



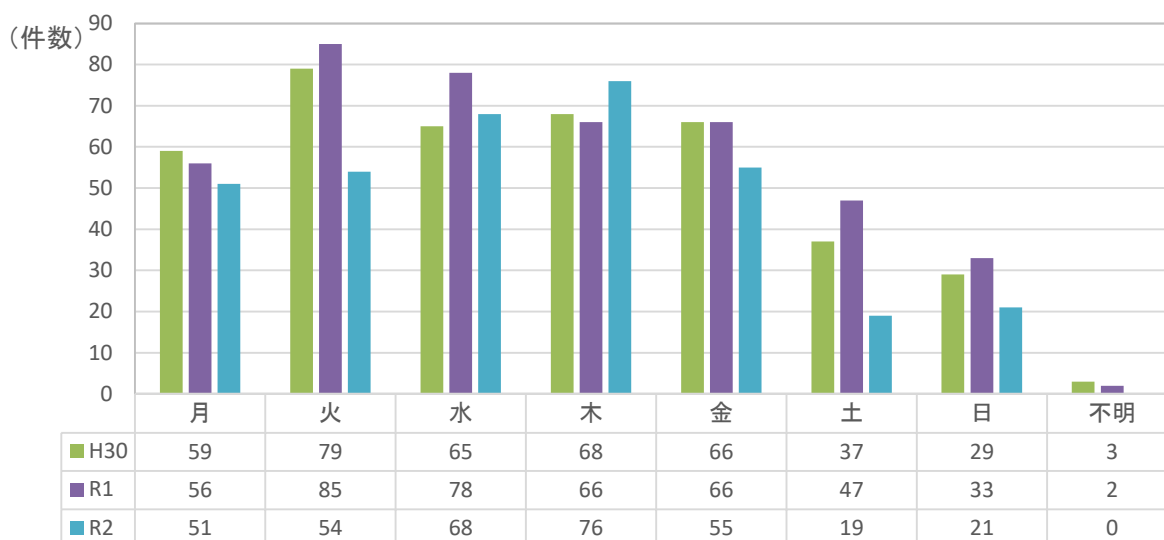
- 全体の約70%を15歳以下の子供が占めます。
- 第三者からの通報等で、年齢が判然としない者は、不明としています。

4 月別認知状況(過去3年)



○ 令和2年は、児童生徒の登校制限の影響で、2月から5月までの認知件数が減少しています。

5 曜日別認知状況(過去3年)



○ 土曜日と日曜日の認知件数が減少しています。

6 時間帯別認知状況(令和2年中)



○ 登下校、出勤、帰宅時間帯の認知件数が多くなっています。